

教 育 研 究 業 績

氏名 大澤 洋美
学位：学士（家政）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
乳幼児の言葉に関する研究 保育実践と保育者養成に関する研究	幼児理解 評価 安全教育 乳幼児の言葉 環境	
主要担当授業科目	幼児教育基礎演習 保育指導法演習 言葉領域指導法演習 教職概論 課題研究 A 課題研究 B	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 1) 全埼玉私立幼稚園連合会西部・北部ブロック平成30年度新規採用教員研修講師	平成30年 6月9日	「短期指導計画と一日の保育の展開」について、楊千絵教育要領の改訂を踏まえて、立案の基本と指導の展開及び環境の校正について講義を行うことで、新任教諭の専門性と資質向上に貢献した。
2) 文部科学省 初等教育資料11月号 「幼稚園における安全に関する指導」執筆	平成30年 11月号	幼稚園教育要領改訂にあたって、安全に関する指導の重要性の観点から、指導の実際と実践例の紹介を含めて論説を執筆。世安全に関する各園の環境や指導の工夫、および協力体制についての理解を深めるために貢献した。
3) 文部科学省「幼児理解に基づいた評価に関する検討会」委員及び作成協力者	平成30年 9月～	幼児教育指導資料第6集「幼児理解に基づいた評価」の刊行にあたり、内容の検討および執筆を担当。保育記録の大切さとその意味について、事例をもとに解説をする。幼児理解と評価の在り方について広保育関係者の理解を深めることに貢献をした。
4) 東京都練馬区光が丘むらさき幼稚園 園内研究会 講師	平成30年 10月22日	園内研究会「幼児一人一人の遊びの充実を目指して」～体を動かすことの楽しさを味わう環境の工夫～のテーマのもと、4歳5歳児の研究保育について指導を行う。教師の指導の在り方と環境の工夫について協議を行うことで、教師の専門性と資質の向上に貢献をした。
5) 東京都墨田区立第三寺島幼稚園 保育士実習及び園内研究会講師	平成30年 11月20日	「幼児教育の現状と保育の在り方について」をテーマに、隅田区内の公立保育園保育士と幼稚園教諭の合同研修会にて講師を務める。4歳児5歳児の研究保育を受けて、教育要領及び保育指針の改訂の方向を踏まえて、講義を行うことで、保育者としての専門性と資質の向上に貢献をした。
6) 文部科学省 幼稚園教育理解推進事業 (中央協議会)講師	平成30年 12月14日	文部科学省 幼稚園教育理解推進事業(中央協議会)講師として、第6分科会預かり保育に関する発表に対するコメントや預かり保育の課題やこれからについて協議をすることで預かり保育についての理解を深めるために貢献をした。
7) 千葉県鴨川市立認定医こども園江見子ども園 園内研究会 講師	平成31年 3月24日	1 2) 研究発表に向けての保育の展開や環境、地域との交流等について検討後重ねることで、保育者としての専門性と資質の向上に貢献をした。
8) 文部科学省 「幼児教育の資質向上のための評価実施支援事業企画評価会議」委員	平成31年 4月	1 3) 各園の学校評価の実施を支援する取り組みの在り方について検討することで、幼児教育における学校評価の在り方や理解の調整室を高めるために貢献をしている。
9) 世界文化社 ワンダーブック編集委員会委員	2019/9/5	
10) 練馬区立光が丘むらさき幼稚園 園内研究会講師	2020/2/21	
2 作成した教科書、教材		

保育内容 環境 第3版 (みらい)	平成30年3月	第4章 友達や保育所とともに育つ 人的な環境について ○子どもにとっての保育所の意味 ○保育所にとっての子どもの意味 ○子供にとっての友だち ○異年齢の子どもや様々な人とのかかわり について事例をもとに解説し、人的な環境の意味や考え方、幼児に及ぼす影響等を解説する。 執筆(pp. 42～52)		
3 教育上の能力に関する大学等の評価				
4 実務の経験を有する者についての特記事項				
5 その他				
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項	年月日	概要		
1 資格, 免許 幼稚園教諭一級免許状 保育士資格	昭和63年3月			
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項	令和元年12月	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会教員免許更新講習		
	令和2年1月	埼玉私立幼稚園連合会新規採用教員研修10日目講師 全埼玉私立幼稚園連合会 教員免許更新講習		
	令和2年2月	栃木県総合教育センタースキルアップセミナーⅢ講師		
	令和2年11月	王子総合高校2年生を対象とした家庭科の授業の講師		
	令和3年1月	全埼玉私立幼稚園連合会新規採用教員研修10日目講師		
	令和3年11月	練馬区立光が丘むらさき幼稚園 園内研究会講師		
	令和3年11月	港区立芝浦幼稚園園内研究発表会 講師		
令和4年1月	全埼玉私立幼稚園連合会新規採用教員研修10日目講師			
令和4年12月	世田谷区立多聞幼稚園園内研究会講師			
令和5年1月	全埼玉私立幼稚園連合会新規採用教員研修10日目講師			
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要

(著書) 「役立つ！書ける！5歳児の指導計画」	共著	平成 30 年 2 月	チャイルド社 (159 頁)	平成 30 年実施の幼稚園教育要領の実施に当たり、5 歳児の指導計画について 12 カ月の指導計画と週案、日案で具体例をあげる。また、幼児期の終わりまでに育ててほしい 10 の姿における重点を記載。 (担当該当部分) 「 <u>保護者とのパートナーシップの築き方</u> 」について、会話の実際の様子を示しながら知らせる。(pp. 69) 「 <u>生活の中で育つ言葉</u> 」では、長時間保育における実践の様子を解説しながら遊びの紹介をする。また、 <u>じっくりゆったりと子どもの言葉を受け止める保育者の姿勢の大切さ</u> について知らせる。(pp. 129) 筆者：神長美津子、佐々木晃、大澤洋美他
3・4・5 歳児の心 Q&A	単著	平成 29 年 5 月	学研プラス (144 頁)	<u>保育者が日常の保育の中で出会う子どもの戸惑い、トラブル、保育者の戸惑いを心の側面から考え、具体的な解決の方法を探る。</u> ルールを守らない、「嫌い」と言いながら一緒に遊びたがる、特定の子が力を持つなど、保育現場の悩みを 4 1 取り上げ、幼児の心の観点から状況や解決の手段を分析。また、 <u>保育者の対応についても、その効果を明らかにして、保育の中で困った時の対応について答える。</u>
保育内容 環境 第 3 版	共著	平成 30 年 3 月	みらい (175 頁)	第 4 章 友達や保育所とともに育つ 人的な環境について <u>○子どもにとっての保育所の意味</u> <u>○保育所にとっての子どもの意味</u> <u>○子供にとっての友だち</u> <u>○異年齢の子どもや様々な人とのかかわり</u> について事例をもとに解説し、人的な環境の意味や考え方、幼児に及ぼす影響等を解説する。 執筆(pp42～52)
幼保連携型認定こども園幼児指導要録 記入の実際と用語例	共著	平成 31 年 1 月	鈴木出版 (279 頁)	4 <指導に関する記録>用語例 【おおむね 6 歳（5 歳児）用語例 5 歳児の育ちについて、10 の姿に対応した用語の例を提示。(pp131～153) 5 <指導に関する記録>記入のポイント 5 歳児の指導要録の記入内容について改訂の内容を受けた記入 (pp176～189) の仕方について解説。
0 歳～6 歳児「言葉を育てる」保育	共著	令和 3 年 3 月	東洋館出版 (160 頁)	幼児に対して保育者がどのようにかかわることが言葉のはたつうを促すことに繋がるのか具体的な場面や事例を通してあげた。また、保育者の疑問にも答えて解説をする。 (第 1 章 Q13.21. 22.23. 25.27. 30.34. P36.37.42.43.54.55.58.59.72.23.84..84,85, 900,93,100,122,123,142 コラム)

0～6 歳児「豊かな環境をつくる」	共著	令和 5 年 3 月	東洋館出版 (138 頁)	「豊かな環境をつくる」保育に関する基礎・基本 第 1 章 よくあるギモン 3 0 第 2 章 「豊かな環境をつくる」アイデア 2 0 第 3 章 接続期で「豊かな環境をつくる」 (幼児教育と小学校教育の接続の必要性と基本的な考え方)
(学術論文)				
子どもの加減行為についての一考察	共著	平成 31 年 3 月	東京成徳短期 大学紀要 52 号 (p p : 13 ~ 33)	日々個々に出会う遊びの中で、その子の行為に着目し、どのようにして「加減」を経験し、学び取っているのかを目視と写真及びビデオで記録し、行為(行動的・情動的・言語的)の一部である、その子がモノを扱う時の身体的加減を分析することで自己性がどのように形成していくのかを明らかにした。(p p : 13~33) 大澤洋美 安見克夫 福山多江子永井優美 伊澤永修
主体的・対話的で深い学びの研究 —幼稚園教諭養成課程における実践—	共著	平成 31 年 3 月	東京成徳短期 大学紀要 52 号 (p p : 95 ~ 104)	主体的な学び・対話的な学び・深い学びの視点は、子どもの学びの過程としては一体として現れそれぞれに影響し合うものである。このことを踏まえ模擬保育の実践を増えりかえり保育観や指導間の深まりを探る。(p p : 95~104) 福山多江子、生野金三、大澤洋美、幸田健治、永井優美 保育の場において子どもたちにとって身近な固定遊具として浸透しているすべり台の変遷について明らかにすることを目的とする。
保育施設に設置されるすべり台の歴史的変遷	共著	令和 4 年 3 月	植草学園大 学研究紀要 23 巻 p. 39-50	久留島太郎 境愛一郎 秋田喜代美 大澤洋美 箕輪潤子 宮田まり子 遊びの中のリスクについてのアンケート結果と KYT 図版から、保育の中でのリスク感を分類し私的数の比較からリスクに関する保育者の意識について考察する。
遊び中のリスクに対する認知と考え方の関連性：KYT 図版への指摘数の比較から		令和 4 年 10 月	乳幼児教育学 研究 31 号, 27-38	境愛一郎・宮田まり子・秋田喜代美・大澤洋美・久留島太郎・箕輪潤子
(その他)				
1 初等教育資料 11 月号 No v. 2018 No. 973”		平成 30 年 11 月	文部科学省 (東洋館出版社発行)	”特集 I 健康・安全・食に関する力の育成について特集 (担当該当部分：幼児教育論説) 幼稚園における安全に関する指導の推進について、新教育要領においての園生活の安全についての追記項目を中心に、近年の社会・自然の変化に対応した園生活の在り方について見直し、安全に関する計画と実践について考えることを目的とする。 著者：大澤洋美 編集 文部科学省 教育課程課/幼児教育課

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。